

第7次和歌山県保健医療計画（平成30年3月策定）の取組状況について（令和4年5月末時点）

(1)がん

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
がんによる死亡者の減少 （75歳未満年齢調整死亡率）	80.3（10万対：人） （2015年）	68.3（10万対：人）	72.5（10万対：人） （2020年度）
喫煙率	男性：27.9% 女性：5.5% （2016年）	男性：18.9% 女性：3.5%	
がん検診受診率（胃がん）	38.2% （2016年）	70%	39.0% （2019年度）
がん検診受診率（肺がん）	44.2% （2016年）	70%	44.4% （2019年度）
がん検診受診率（大腸がん）	36.8% （2016年）	70%	36.9% （2019年度）
がん検診受診率（子宮頸がん）	37.5% （2016年）	70%	38.5% （2019年度）
がん検診受診率（乳がん）	39.4% （2016年）	70%	40.6% （2019年度）
精密検査受診率（胃がん）	74.5% （2015年）	90%	75.7% （2020年度）
精密検査受診率（肺がん）	70.6% （2015年）	90%	79.2% （2020年度）
精密検査受診率（大腸がん）	55.8% （2015年）	90%	67.4% （2020年度）
精密検査受診率（子宮がん）	75.5% （2015年）	90%	80.6% （2020年度）
精密検査受診率（乳がん）	80.7% （2015年）	90%	90.0% （2020年度）
チーム医療体制整備病院数（がん診療連携拠点病院等）	9病院 （2017年度）	9病院	9病院 （2020年度）
がん治療にあたって「セカンド・オピニオン」という方法があることをよく知っている県民の割合	36.0% （2017年）	80%	
緩和ケア研修者修了者数	1,832人 （2016年度）	3,000人	2,598人 （2020年度）

(2)脳卒中

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
県内の特定健康診査受診率 （40歳から74歳まで）	40.6% （2015年度）	70%以上	46.8% （2019年度）
うち市町村国保分	31.8% （2015年度）	60%以上	36.3% （2019年度）
県内の特定保健指導の実施率	20.8% （2015年度）	45%以上	24.3% （2019年度）
うち市町村国保分	29.6% （2015年度）	60%以上	30.9% （2019年度）
県内のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	28.1% （2015年度） ※2008年度28.0%	対2008年度 25%以上	29.8% （2019年度）
県内のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率（「医療費適正化計画進捗評価用ツール」で算出）	対2008年度 12.7%減少 （2015年度）		対2008年度 10.6%減少 （2019年度）
脳卒中での遠隔救急支援システムの活用医療圏数	0圏 （2016年度）	7圏	7圏 （2020年度）
脳卒中地域連携クリティカルパスを実施している医療圏数	5圏 （2017年度）	7圏	
超急性期血栓溶解療法（rt-PA）を実施する医療圏数	6圏域 （2017年度）	7圏	

(3) 心筋梗塞等の心血管疾患

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
県内の特定健康診査実施率（40歳から74歳まで）	40.6% (2015年度)	70%以上	46.8% (2019年度)
うち市町村国保分	31.8% (2015年度)	60%以上	36.3% (2019年度)
県内の特定保健指導の実施率	20.8% (2015年度)	45%以上	24.3% (2019年度)
うち市町村国保分	29.6% (2015年度)	60%以上	30.9% (2019年度)
県内のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	28.1% (2015年度) ※2008年度28.0%	対2008年度 25%以上	29.8% (2019年度)
県内のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率	対2008年度 12.7%減少 (2015年度)		対2008年度 10.6%減少 (2019年度)
急性心筋梗塞による年齢調整死亡率（人口10万対）	男16.5 女 7.9 (2015年)	全国平均 男 16.2 女 6.1	
虚血性心疾患の退院患者平均在院日数（患者住所地）	12.4日 (2014年)	全国平均（8.2日）	8.1日 (2017年度)
虚血心疾患等心血管疾患での遠隔救急支援システムの活用医療圏数	0圏 (2016年度)	7圏	7圏域 (2020年度)

(4) 糖尿病

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
県内のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	28.1% (2015年度) ※2008年度28.0%	対2008年度 25%以上	29.8% (2019年度)
県内のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率（「医療費適正化計画進捗評価用ツール」で算）	対2008年度 12.7%減少 (2015年度)		対2008年度 10.6%減少 (2019年度)
県内の特定健康診査実施率（40歳から74歳まで）	40.6% (2015年度)	70%以上	46.8% (2019年度)
うち市町村国保分	31.8% (2015年度)	60%以上	36.3% (2019年度)
県内の特定保健指導の実施率	20.8% (2015年度)	45%以上	24.3% (2019年度)
うち市町村国保分	29.6% (2015年度)	60%以上	30.9% (2019年度)
地域連携クリティカルパスを実施している医療圏数	1圏 (2017年)	7圏	
糖尿病性腎症重症化予防に取り組む市町村数	17市町村 (2017年)	30市町村	30市町村 (2020年度)

(5) 精神疾患

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
精神保健福祉センターや保健所による普及啓発を目的とした講演会等の開催数	年間10回 (2016年度)	年間10回	9回 (2020年度)
身体科と精神科の連携会議の開催数	年間 0回 (2017年度)	年間 1回	0回 (2020年度)
精神科医師数（精神科病院常勤勤務）	53人 (2017年)	65人	63.3人 (2020年度)
精神保健指定医数（精神科病院常勤勤務）	40人 (2017年)	50人	47.2人 (2020年度)
精神科病院に入院している患者の平均在院日数	306.8日 (2016年度)	241.6日	283.4日 (2019年度)
精神病床における慢性期（1年以上）入院需要（65歳以上患者数）	658人 (2016年度)	481人	639人 (2020年度)
精神病床における慢性期（1年以上）入院需要（65歳未満患者数）	476人 (2016年度)	372人	403人 (2020年度)
精神病床における入院需要（患者数）	1,648人 (2016年度)	1,296人	1,459人 (2020年度)

精神病床における入院後3か月時点の退院率	68.6% (2017年6月末)	69%	70.1% (2020年度)
精神病床における入院後6か月時点の退院率	85.1% (2017年6月末)	86%	87.9% (2020年度)
精神病床における入院後1年時点の退院率	88.0% (2017年6月末)	92%	91.7% (2020年度)
応急入院指定病院の指定数	5か所 (2017年度)	6か所	7か所 (2020年度)
状態に応じ、合併症を受け入れることが出来る医療機関数	3か所 (2017年度)	4か所	3か所 (2020年度)
アルコール依存症者に対する適切な医療を提供することが出来る専門医療機関の選定	0か所 (2017年度)	1か所	1か所 (2020年度)
災害時に地域で精神科医療提供について中心的な役割を担う災害拠点精神科病院の選定	0か所 (2017年度)	1か所	0か所 (2020年度)

(5-2) 精神疾患のうち認知症対策

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値 (第8次介護保険事業 支援計画)	直近進捗状況等
かかりつけ医認知症対応力向上研修の受講者数	592人 (2016年度)	850人 (840人)	718人 (2020年度)
認知症サポート医の養成数	47人 (2016年度)	96人 (140人)	102人 (2020年度)
歯科医師認知症対応力向上研修の受講者数	88人 (2016年度)	400人 (350人)	278人 (2020年度)
薬剤師認知症対応力向上研修の受講者数	136人 (2016年度)	620人 (510人)	413人 (2020年度)
一般病院勤務医療従事者認知症対応力向上研修の受講者数	531人 (2016年度)	2,700人 (2,590人)	1,930人 (2020年度)
看護職員認知症対応力向上研修の受講者数	43人 (2016年度)	400人 (350人)	343人 (2020年度)
認知症疾患医療センター整備数	3か所 (2016年度)	6か所 (8箇所)	7か所 (2020年度)

目標値欄の()内は新オレンジプランの考え方にに基づき令和3年度に再設定した数値です。

(6) 小児救急を含む小児医療

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
県内の小児科医師数	140人 (2016年)	170人	143人 (2020年)
小児患者が入院可能な二次医療圏数	6圏 (2016年度)	7圏	7圏 (2020年)
子ども救急相談ダイヤル(#8000)相談件数	6,811件 (2016年度)	10,500件	5,969件 (2020年度)
県内における災害時小児周産期リエゾン認定者数	4人 (2017年度)	12人	13人 (2020年度)

(7) 周産期医療

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
県内の全二次医療圏で出産できる体制の維持	7圏 (2017年度)	7圏	6圏 (2021年10月末)
県内で分娩を取り扱う産科医師数	69人 (2017年度)	80人	59人 (2021年度)
県内の小児科医師数	140人 (2016年)	170人	143人 (2020年度)
県内における災害時小児周産期リエゾン認定者数	4人 (2017年度)	12人	13人 (2020年度)
産後ケア事業及び産婦健康診査事業に取り組む市町村数	1市 (2017年度)	30市町村	11市町 (2020年度)

(8) 救急医療

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
救急要請（覚知）から救急医療機関への搬送までに要した平均時間	37.1分 (2016年)	37.1分以下	38.2分 (2019年度)
遠隔救急支援システムを導入した二次医療圏数	0圏 (2016年)	7圏	7圏 (2020年度)
介護施設等からの救急搬送についてのルールを策定した保健所管轄区域数	0か所 (2017年度)	8か所	4か所 (2020年度)
精神疾患患者における救急要請（覚知）から救急医療機関への搬送までに要した平均時間	41.3分 (2016年)	41.3分以下	43.4分 (2019年度)
県内の救急科医師数	32人 (2016年)	80人	52人 (2020年)
救急出動件数（人口1万人当たり）	523.3件 (2016年)	523.3件以下	551.3件 (2019年度)
わかやま医療情報ネット県民向けトップページへのアクセス件数	183,677件 (2016年度)	200,000件	189,774件 (2020年度)

(9) 災害医療

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
全病院の耐震化率	66.3% (2017年度)	80%	72.3% (2020年度)
災害支援チームの受入を想定した災害訓練の実施箇所数	2か所 (2017年度)	9か所	2か所 (2020年度)
保健所及び災害拠点病院間での無線整備箇所数	3か所 (2017年度)	8か所	8か所 (2020年度)
業務継続計画策定病院数	7病院 (2017年度)	41病院	18病院 (2020年度)

(10) へき地医療

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
へき地医療拠点病院の指定数	4病院 (2017年度)	7病院	5病院 (2020年度)
遠隔診療支援システムを導入したへき地診療所が所在する二次医療圏数	2圏 (2017年度)	6圏	7圏 (2020年度)
へき地診療所・へき地医療拠点病院への医師配置数	22人 (2017年度)	60人	33人 (2020年度)

(11) 在宅医療

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
わかやま在宅医療推進安心ネットワーク構築保健所管轄区域数	0か所 (2015年度)	8か所	8か所 (2020年度)
地域密着型協力病院数	20病院 (2017年度)	40病院	26病院 (2020年度)
在宅療養支援診療所数	162施設 (2017年度)	264施設	176施設 (2020年度)
在宅医療支援薬局数	120施設 (2017年度)	180施設	161施設 (2021.10月現在)
在宅療養支援歯科診療所数	75施設 (2017年度)	145施設	48施設 (2021.10月現在)
かかりつけ医がいる者の割合	72.2% (2017年度)	90%	
退院支援を実施している病院数	26施設 (2016年度)	高度急性期・急性期・回復期を持つ全ての病院	39施設 (2021.10月現在)
全ての在宅医療・介護連携推進事業を実施し、地域包括ケアシステム構築に取り組む市町村数	0市町村 (2016年度)	30市町村	30市町村 (2021.10月現在)
訪問看護ステーションに従事する看護職員数（常勤換算）	458人 (2016年度)	650人	604人 (2019年度)
患者の意思確認をするための体制	0か所 (2017年度)	8か所	4か所 (2020年度)
人生の最終段階における医療について家族と話し合ったことがある者の割合	42.7% (2017年度)	70%	
在宅看取りを実施している診療所数	68施設 (2014年度)	90施設	61施設 (2017年度)

(12)健康づくり

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
健康寿命の延伸（日常生活に制限のない期間の平均の延長）	男性 71.43歳 女性 74.33歳 (2013年度)	男性 74歳 女性 77歳	男性 72.39歳 女性 75.33歳 (2019年度)
県内の特定健康診査実施率（40歳から74歳まで）	40.6% (2015年度)	70%以上	46.8% (2019年度)
うち市町村国保分	31.8% (2015年度)	60%以上	36.3% (2019年度)
県内の特定保健指導の実施率	20.8% (2015年度)	45%以上	24.3% (2019年度)
うち市町村国保分	29.6% (2015年度)	60%以上	30.9% (2019年度)
県内のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	28.1% (2015年度) ※2008年度28.0%	対2008年度 25%以上	29.8% (2019年度)
県内のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率（「医療費適正化計画進捗評価用ツール」で算出）	対2008年度 12.7%減少 (2015年度)		対2008年度 10.6%減少 (2019年度)
野菜摂取量の平均	280.2g (2016年度)	350g	
食塩摂取量の平均	9.7g (2016年度)	8g	
1日の歩数の平均（20歳以上）	男性 6,008歩 女性 5,346歩 (2016年度)	8,000歩	
成人の喫煙率	男性 27.9% 女性 5.5% (2016年度)	男性18.9% 女性 3.5%	

(13)母子保健対策

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
子育て世代包括支援センター設置市町村数	9市町 (2017年度)	30市町村	30市町村 (2020年度)
出産後退院までに、保健師等による保護者との面接等が必要と考えられる者の基準を定めている市町村数	11市町村 (2016年度)	30市町村	11市町村 (2020年度)
産後ケア事業及び産婦健康診査実施市町村数	1市 (2017年度)	30市町村	11市町 (2020年度)
乳幼児健康診査の未受診者の全数把握の体制があり、把握方法を定めている市町村数	24市町村 (2016年度)	30市町村	30市町村 (2020年度)
乳幼児（0～4歳児）の不慮の事故による死亡者数	1人 (2016年)	0人	1人 (2020年)
10代の人工妊娠中絶実施率（女子人口千人対）	4.5 (2016年度)	減少	2.9 (2020年度)
妊婦の喫煙率	4.2% (2016年度)	0%	2.9% (2020年度)
不妊治療助成を行う市町村数（一般不妊治療および特定不妊治療）	30市町村 (2017年度)	全市町村継続	30市町村 (2020年度)

(14)感染症・結核対策

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
肝炎ウイルス検査受検者数	7,274人 (2016年度)	8,000人	3,694人 (2020年度)
結核罹患率（人口10万対）	13.7 (2016年)	10.0以下	11.9 (2020年度)
肺結核患者治療失敗・脱落中断率	5.2% (2015年)	5.0%	1.7% (2020年度)

(15)難病対策

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
在宅で療養する人工呼吸器使用患者の災害時個別支援計画の策定	一部で策定 (2017年度)	全ての対象者	一部で策定 (2020年度)

(16) 移植医療対策

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
院内臓器移植コーディネーター数	78名 (2016年度)	90名	83名 (2020年度)
院内臓器移植コーディネーターの研修参加率(年1回以上)	64% (2016年度)	70%	37.3% (2021年度)
臓器移植に関する啓発実施市町村数	18市町 (2016年度)	30市町村	16市町 (2020年度)
骨髄バンク新規登録者数	527人 (2016年度)	700人	184人 (2020年度)

(17) 歯科保健医療対策

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
3歳児におけるむし歯のない幼児の割合	80.1% (2016年度)	85%以上	83.8% (2019年度)
12歳児における1人平均むし歯本数	0.87本 (2016年度)	0.8本以下	0.93本 (2019年度)
60歳における進行した歯周炎に罹患している者の割合	67.4% (2015年度)	50%以下	28.0% (2019年度)
60歳における24本以上の自分の歯を有する者の割合	79.7% (2015年度)	80%以上	79.7% (2019年度)
80歳における20本以上の自分の歯を有する者の割合	36.1% (2016年度)	40%以上	
「オーラルフレイル」を知っている者の割合	5.4% (2017年度)	20%	
かかりつけ歯科医を決めている者の割合	70.5% (2017年度)	90%	

(18) 医師確保

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
医療施設従事医師数	2,768人 (2016年)	3,090人	2,840人 (2020年度)
へき地等中山間地域への自治医科大学卒業医師等の派遣人数	22人 (2017年)	60人	33人 (2020年度)
県内で分娩を取り扱う産科医師数	69人 (2017年)	80人	67人 (2020年度)
小児科医師数	140人 (2016年)	170人	143人 (2020年度)
精神科医師数(精神科病院常勤勤務)	53人 (2017年)	65人	63.3人 (2020年度)
精神保健指定医数(精神科病院常勤勤務)	40人 (2017年)	50人	47.2人 (2020年度)
救急科医師数	32人 (2016年)	80人	52人 (2020年度)
総合診療専門医数	— (2017年)	10人	— (2018年)
臨床研修医の採用数	85人 (2017年)	110人	101人 (2020年度)
新専門医制度における専攻医の採用数	— (2017年)	80人	90人 (2020年度)
県立医科大学県民医療枠・地域医療枠及び近畿大学医学部和歌山県地域枠の卒業医師数(臨床研修・後期研修の医師を含む)	102人 (2017年)	312人	203人 (2020年度)

(19) 歯科医師確保

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
在宅療養支援歯科診療所数	75施設 (2017年度)	145施設	77施設 (2020年度)

(20) 薬剤師確保

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
薬局・医療施設に従事する人口10万 対薬剤師数	181.9人 (2016年度)	全国平均薬局・医療施設 に従事する人口10万人対 薬剤師数	199.4人 (2020年度) (全国平均 198.6人)
薬剤師研修会の実施回数	年間1回 (2016年度)	年間3回	年間3回 (2020年度)

(21) 看護職確保

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
県内看護職員の養成数	500人 (2017年度)	560人	560人 (2020年度)
従事看護師・准看護師数	13,591人 (2016年度)	15,280人	14,143人 (2020年度)
訪問看護ステーションに従事する看 護職員数(常勤換算)	458人 (2016年度)	650人	658人 (2020年度)

(22) 医薬品の供給と安全性の確保

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
薬局、医薬品販売業者等の監視率	41.5% (2016年度)	42.5%	25.1% (2020年度)
医薬品等製造販売業者の監視率	16.7% (2016年度)	30%	14.0% (2020年度)
医薬品等製造業者に対する監視率 (GMP調査)	78.9% (2016年度)	100%	68.4% (2020年度)
後発医薬品の使用割合	65.0% (2016年度)	80%	80.4% (2020年度)
適正管理の推進のための講習会の開 催回数	年5回 (2016年度)	年9回	年5回 (2020年度)
関係団体との災害訓練開催回数	年7回 (2017年度)	年9回	年4回 (2020年度)
薬剤師チームの中心的な役割を担う 人物の養成数	0名 (2017年度)	50名	53名 (2020年度)

(23) 医薬分業

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
処方せん受取率	51.9% (2016年度) (全国平均71.7%)	70%	58.9% (2020年度) (全国平均 74.9%)
かかりつけ薬剤師・薬局を決めてい る者の割合	40.6% (2017年度)	70%	
健康サポート薬局届出薬局数	19 (2016年度)	80	52 (2020年度)
在宅医療支援薬局数	120 (2017年度)	180	150施設 (2020年度)

(24) 血液の確保

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
10代の献血率	5.8% (2016年度)	7.0%	5.4% (2020年度)
20代の献血率	5.5% (2016年度)	8.1%	6.5% (2020年度)
30代の献血率	6.4% (2016年度)	7.6%	7.2% (2020年度)
献血学習を実施する高等学校数	5校 (2016年度)	20校	6校 (2020年度)
複数回献血者数	7,544人 (2016年度)	9,544人	8,698人 (2020年度)

(25) 薬物乱用の防止

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
中学校及び高等学校における薬物乱用防止教室の実施率	79.2% (2016年度) (全国平均 89.4%)	全国平均以上	81.3% (2018年度) (全国平均 89.1%)

(26) 医療安全対策

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
医療安全相談窓口の設置	77.1%(64病院) (2017年度)	全病院 (83病院)	81.9% (68病院) (2020年度)

(27) 医療サービスの向上

項目	第7次計画策定時	第7次計画目標値	直近進捗状況等
わかやま医療情報ネット登載医療機関数	1,753ヶ所 (98.3%) (2017年度)	全ての病院、診療所 及び助産所 (100%)	1,696ヶ所 (98.8%) (2020年度)